

「あかし市民自然図鑑」

海浜植物とそれにつながる生きもの調べ



あかし生物多様性調査

しみん
しぜん
ずかん

市民が創る自然図鑑

明石公園の野鳥、金ヶ崎公園の昆虫に続いて海岸の生きもの調べを行いました。海浜植物、またその植物にどんな昆虫が共に暮らしているのかを観察しました。

主催：エコウイングあかし
講師：竹上秀巳氏、福島秀毅氏

開催日：平成26年8月24日（日）

時間：9時～12時

対象：エコウイングあかし・自然GR会員

観察ゾーン：藤江海岸⇄松江海岸 往復 約2km

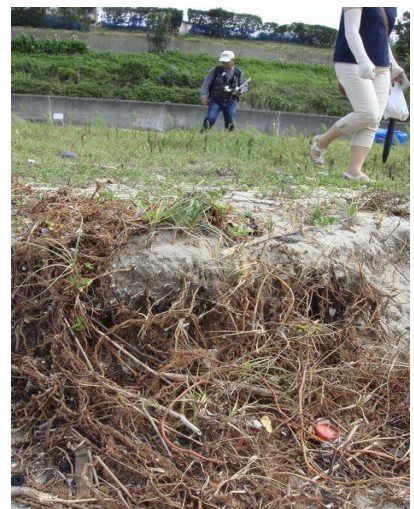
参加者：会員12名、国交省2名、学校関係者4名



コウボウシバ、一部コウボウムギが広がる



改修された国交省の看板前で砂浜の生態を説明



砂浜深く張り巡らされた根

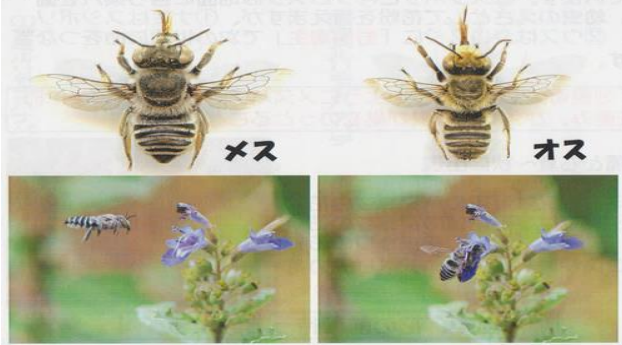


スナガニの巣穴

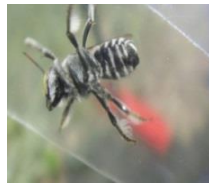


ハマゴウの群落

ハマゴウに依存するコウベキヌゲハキリバチ



浜辺には夏から秋にかけてハマゴウの花がさきます。この植物がないと生存できないのがコウベキヌゲハキリバチです。



実物の写真



砂地に掘った巣穴にハマゴウの花から集めた花粉や、丸く切り取ったハマゴウの葉を持ち帰ります。この葉で作ったカプセルに花粉をつめ、巣穴に蓄えて幼虫のえさにします。

その他、観察された植物



オカヒジキとハマヒルガオ



クコの実と花

実は薬草になります

年々変化していますが、「**要注意外来生物**」が目立つようになりました



一番多く見られるコマツヨイグサ



ハマゴウに絡みつくアメリカネナシカズラ



メマツヨイグサ